

# 「おし歯ではないのに歯がしみる。 どうして？」 それは「知覚過敏」です！



歯を磨いたり冷たいものを口に入れた途端、おし歯でもないのに何とも言えない嫌な感じに歯がしみる場合があります。これが「知覚過敏」です。知覚過敏は、なぜおきるのでしょうか？

## ♥ 刺激を「痛み」と伝える歯の神経

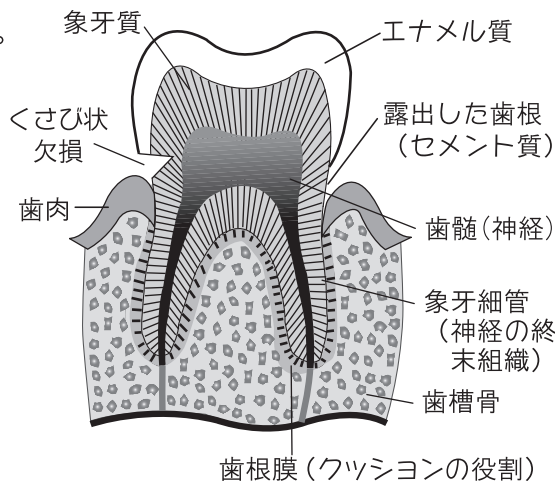
表面の硬いエナメル質の層の下にある象牙質の中には、放射状に「象牙細管」という細い管が歯の神経（歯髄）に向かって通っています。外からの刺激はこの管を通じて神経に伝わり、神経はそれらの刺激を「痛み」として脳に伝えます。おし歯でなくとも象牙質が直接刺激にさらされる状態になれば、歯はしみて痛みを感じます。

## ♥ 象牙質が直接刺激にさらされたとき（くさび状欠損の場合）

象牙質は、強い力で横磨きしたり、かみ合わせが悪くて歯によけいな力がかかったりした部分では、エナメル質が削れて露出してしまいます。刺激に直接さらされて、歯はしみて感じます。

## ♥ セメント質が露出したとき

また、歯周病が進行すると、歯ぐきが下がって歯の根の部分が見えるようになります。歯根部分の象牙質はエナメル質よりやわらかなセメント質で覆われているだけです。何かの拍子にセメント質が欠けて象牙質が露出すると、やはり歯がしみて感じられます。



治療は、象牙質の削れた部分に詰め物して象牙質を保護します。顔を出した部分に薬を塗布する、歯の根にコーティングを施して刺激を遮断するなどの治療法もあります。その方の状態によって治療法を選びます。

# KOMIYA DENTAL NEWSLETTER

## 4 2003年 月号



日ごとに春めいて暖かい日が続くようになりました。

3月23日の日曜日に、日頃から待合室ポスターや各種パンフレットの作製をお願いしている（12年来のお付き合いになります）株式会社コムネット様主催のセミナーにおいて、歯科医師はじめ総勢60余名の前で、院長とゆう子先生が予防を医院で取り入れるための実践セミナーの講師をさせていただきました。当院の特色日頃からの意気込みを、院長が総論的にフィロソフィーを、ゆう子先生が13年半に及ぶデータをまじえて熱く語ってきました。

同業者である他院の先生方に、有り余るおほめの言葉をいただきましたことをご報告申し上げます。

さて、当院もさらなる飛躍のため、スタッフを増強する予定であります。教育、指導しながらの診療も多く、色々ご迷惑をおかけすると思いますが、新しい芽生えのため、よろしく願いいたします。

毎月保険証の提示に御協力頂きありがとうございます。  
このニューズレターは当院のオリジナルで毎月発行しています。

## ☆ 診療日変更のお知らせ ☆

4月24日(木)…………… 診療します

4月26日(土)～5月5日(日)… 改装工事のため休診します



〒125-0041 葛飾区東金町1-45-2 ハヤシ駅前ビル2F

☎ 03-5699-8888